

岡山大学大学院社会文化科学研究科の教育における3つの方針（ポリシー）

岡山大学大学院社会文化科学研究科は、文学部、法学部、経済学部との3つの学部を基盤とし博士前期課程と博士後期課程から構成される学際型・融合型の大学院です。博士前期課程には、国際社会専攻、日本・アジア文化専攻、人間社会文化専攻、法政理論専攻、経済理論・政策専攻、組織経営専攻の6専攻があり、人文社会科学系のほとんどの学問領域を網羅しています。

岡山大学大学院社会文化科学研究科は、西日本における学術研究の中核拠点の1つとして国際水準の研究・教育を行い、高度な専門性と幅広い視野および豊かな人間性を備えた有為な人材を育成しています。また地域の行政や企業をはじめとする様々な主体と深く結びつくとともに、地域の文化・社会・経済に貢献する大学院として機能しています。

（1）入学者受け入れの方針（アドミッションポリシー）

本研究科では文学・法学・経済学の各分野において高度な知識・能力と技術・判断力を身につけた高度実践人や高度な専門的分析能力を持つ研究者を目指す入学者を求めています。入学者の多様性を重視し、日本人、外国人留学生、職業人・社会人など様々な方を受け入れています。一般入試の他にも特別入試（留学生・社会人・職業人）を実施しており、様々な国からの留学生、専門的な教育や深い教養を志向する社会人、キャリアアップやリーダーシップを志向する職業人、あるいは、人文・社会科学の多様な分野とともに自然科学にもまたがる複合的・学際的な研究を希望する入学者を求めています。

「研究深化プログラム」は、専門分野に係る高度な知識・能力と技術・判断力の修得を目指す学生や、博士後期課程へ進学し、博士の学位取得を最終目標とする者を受け入れています。

「高度人材育成プログラム」は、高度な専門能力をもった高度実践人を養成することを目的とします。地域から世界まで、社会で活かせる専門的な知識の修得を目指す者や、日本の言語・社会・文化に関する多方面の知見の修得を目指す外国人留学生を受け入れています。

（2）教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

博士前期課程では、本研究科で学ぶことに関心をもつ方々の多様な希望に応じて柔軟な学修を可能にするため、国際社会専攻、日本・アジア文化専攻、人間社会文化専攻、法政理論専攻、経済理論・政策専攻、組織経営専攻の6専攻を設置するとともに、それぞれに「研究深化プログラム」と「高度人材育成プログラム」を編成しています。

「研究深化プログラム」は、主として、教員や研究者等を養成することを目的としたカリキュラムであり、ここでは各講座で定めた専門科目及び演習を履修することになっています。研究論文を執筆するための高度な知識・能力と技術・判断力の修得を目指しています。

「高度人材育成プログラム」は、知識集約型社会を支える高度実践人の養成を目指したカリキュラムであり、ここでは各プログラムで定めた専門科目及び演習を履修することになっています。組織経営専攻のプログラムおよび地域公共政策プログラムにおいては、地元の企業や官公庁・自治体の現場の経験に触れることができるようカリキュラムを実施しています。また、夜間開講科目を設置したり、長期履修制度を設けたりするなど、働きながら学べるように配慮されたカリキュラムとなっています。

（3）学位授与の方針（ディプロマポリシー）

博士前期課程では、修士論文などにまとめた研究成果が当研究科の定める学位授与の水準を満たしていることに加え、高度な専門知識を修得の上、特定の課題についての研究を遂行する能力を身につけるとともに、関連の諸課題に的確に対処し得る思考力と行動力を備えている者に対して修士の学位を授与しています。

「研究深化プログラム」の修了要件は、同課程に2年以上在学し、指導教員の指導により30単位以上を修得すること、かつ、社会文化科学研究科博士前期課程の行う学位論文の審査及び最終試験に合格することです。

「高度人材育成プログラム」の修了要件は、同課程に2年以上在学し、指導教員の指導により30単位以上を修得すること、かつ、社会文化科学研究科博士前期課程の行う研究報告書の審査及び最終試験に合格することです。